

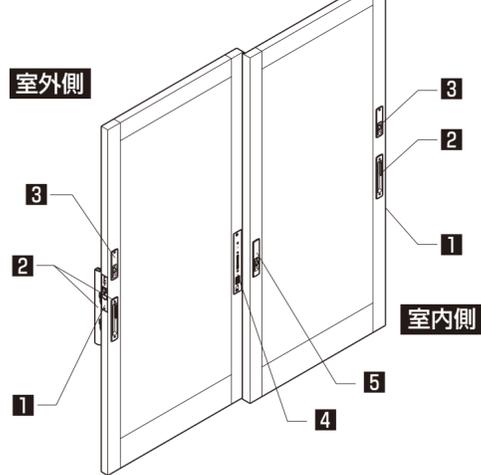
LIXIL 戸先錠ケース・把手・引手・錠・セキュリティサムターン 取付け説明書

- この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
- この説明書は施工後、お施主さまにお渡しください。

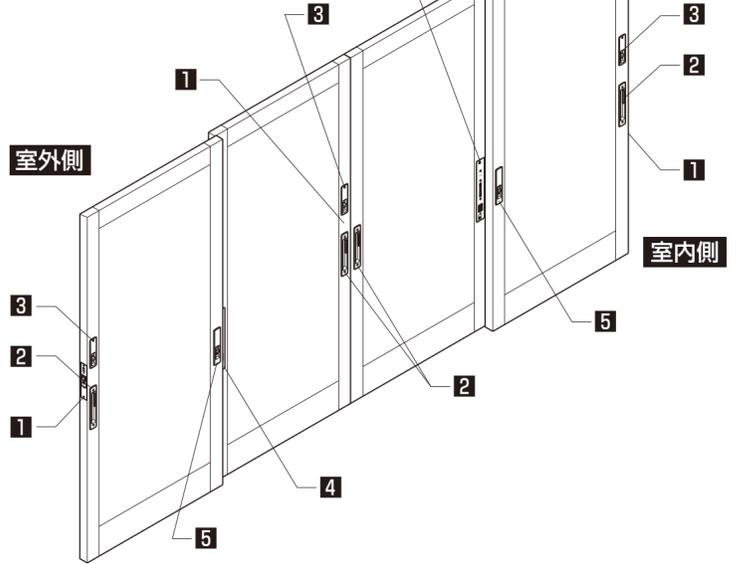
■姿図

- 1 戸先錠ケースの取付け
- 2 把手・引手の取付け
- 3 戸先錠の取付け
- 4 召合せ外錠の取付け
- 5 召合せ内錠(セキュリティサムターン)の取付け

【2枚建】



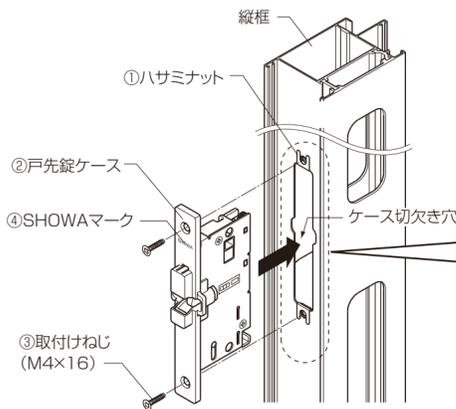
【4枚建】



■取付け手順

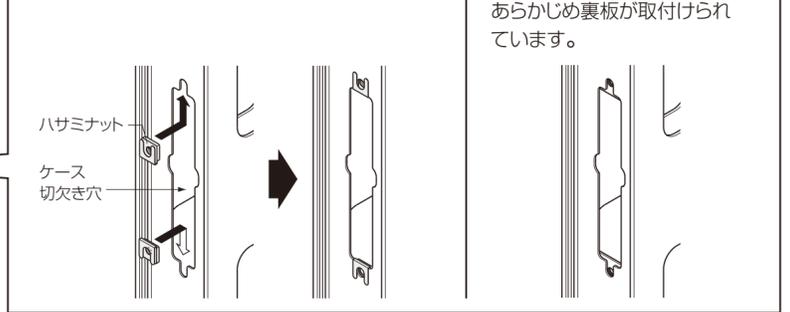
1 戸先錠ケースの取付け

- ※把手・引手・戸先錠を取付ける前に戸先錠ケースを取付けてください。
- ①ハサミナットをケース切欠き穴の上下に差込み、
- ②戸先錠ケースを③取付けねじ(M4×16)で取付けてください。
- ※戸先錠ケースは④SHOWAマークを上にして取付けてください。
- ※4枚建の合掌部は、戸先錠と同一品で取付け方も同じです。
- ※戸先錠ケースを取付け後に、縦框を下にして障子を立てないでください。
- ※戸先錠ケースを破損するおそれがあります。
- ※防犯建物部品の場合はハサミナットはありません。あらかじめ裏板が取付けられています。



■ハサミナットの取付け方

足を表側にして、落ちないように取付けてください。

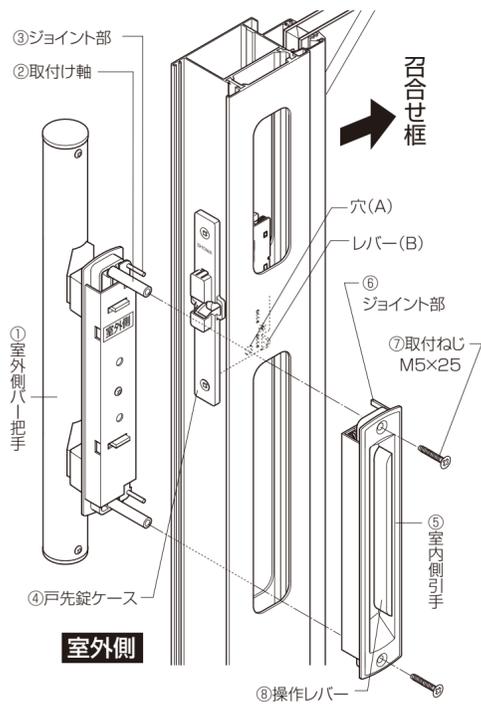


■防犯建物部品の場合

ハサミナットはありません。あらかじめ裏板が取付けられています。

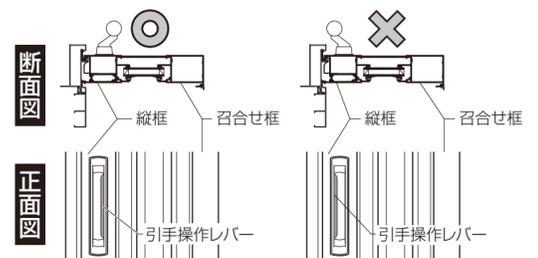
2 把手・引手の取付け

- ※戸先錠ケースを先に取付けてください。
- ※本図は室外側パー把手、内側引手のラッチ付きの図で説明していますが、外:引手+内:引手 外:把手+内:把手 のパターンも取付け方法は同じです。
- 室外側把手を室外側から切欠きに差込みます。その時、②取付け軸を④戸先錠ケースの穴(A)に差し込み③ジョイント部がレバー(B)の上ののるよう取付けます。
- 室内側引手も同様に⑥ジョイント部がレバー(B)にのるよう切欠きに合わせ差込み⑦取付けねじで固定します。
- ※ラッチなしの場合は、ジョイント部およびレバー(B)はありません。
- ※引手・把手を解除操作したまま取付けると、ジョイント部がレバー(B)にのらず、ラッチ解除ができなくなります。



■把手・引手の取付け方向

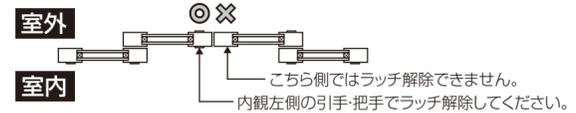
- 把手は必ずグリップ部が召合せ框側にくるように取付けてください。
- 引手は、ラッチ付きの場合、必ず操作レバーが召合せ框側にくるように取付けてください。(ラッチなしの引手は、左右の区別はありません)
- ※逆に取付けると手を挟んだり、ラッチ解除操作ができなくなります。



■操作方法(ラッチ付きの場合)

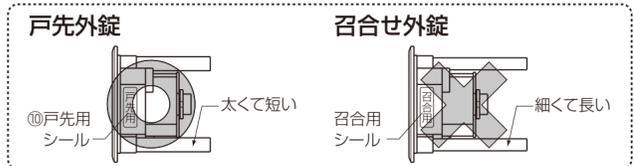
- 可動把手の操作はグリップ部を障子を開ける方向に平行に動かすとラッチが解除します。
- 可動引手の操作は操作レバーを障子を開ける方向に平行に動かすとラッチが解除します。
- ※操作レバーの下方に手を掛けるより上方に手を掛けた方が軽く解除できます。
- ※4枚建ての内観右側の合掌部にも可動引手・可動把手が付きますがラッチ解除は、内観左側の合掌部の引手・把手でしかできません。

<4枚建戸>

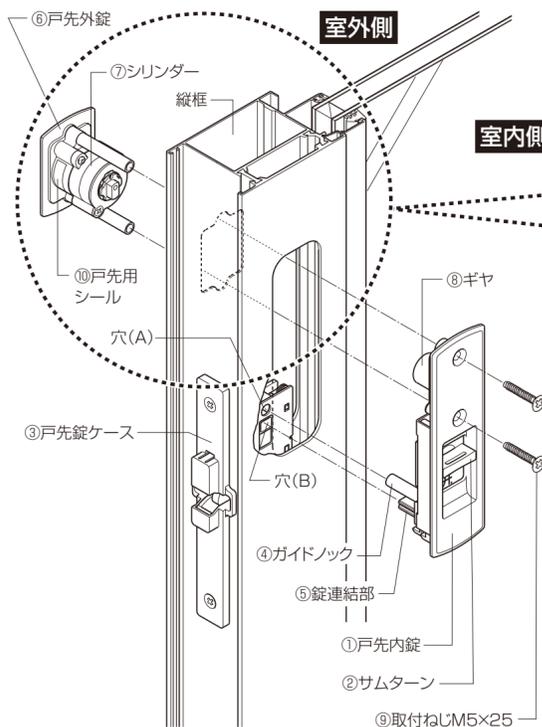


3 戸先錠の取付け

- ※戸先錠ケースを先に取付けてください。
- ※戸先外錠は、召合せ外錠とは異なります。⑩戸先用シールを確認してください。

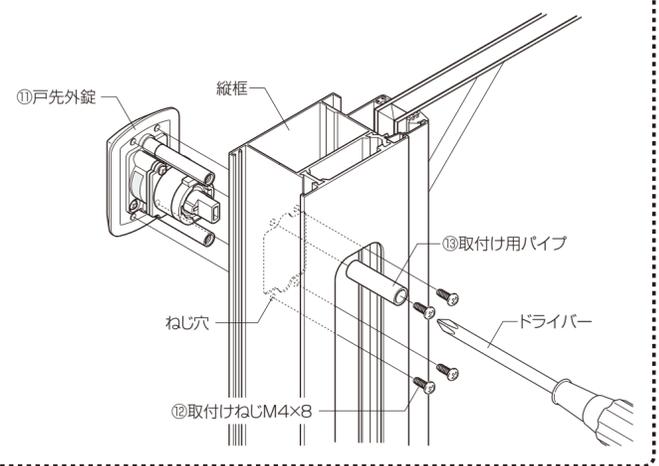


- ※戸先外錠にはシリンダー付きとシリンダーなしがありますが、外障子・内障子どちらの縦框にも取付け可能です。
- ※本錠は、安全装置付きのため、障子が閉まった状態でないと②サムターンの「開」「閉」操作はできません。
- ※防犯建物部品の場合は、右吹き出し内を参照してください。
- ①戸先内錠の②サムターンを上げて③ケースの穴(A)に④ガイドノックを挿入し、穴(B)に⑤錠連結部を差し込みます。
- ⑥戸先外錠の⑦シリンダーを①戸先内錠の⑧ギヤ部に差し込み、室内側から取付けねじ M5×25 で取付けます。



■防犯建物部品の場合

- 1 縦框の切欠きに合わせ⑩戸先外錠を差込みます。
 - 2 室内側の切欠きから⑩戸先外錠を⑩取付けねじ M4×8 (4本) で取付けます。
 - 3 ①戸先内錠の②サムターンを上げて、③戸先錠ケースの穴(A)に④ガイドノックを挿入し、穴(B)に⑤錠連結部を差し込み、室内側から⑨取付けねじ M5×25 (2本) で取付けます。
- ※⑩戸先外錠を取付けるときは、同梱の⑬取付け用パイプを使用して作業してください。⑬取付け用パイプを使用せずに⑩戸先外錠を取付けると、框内に⑩取付けねじが落下するおそれがあります。

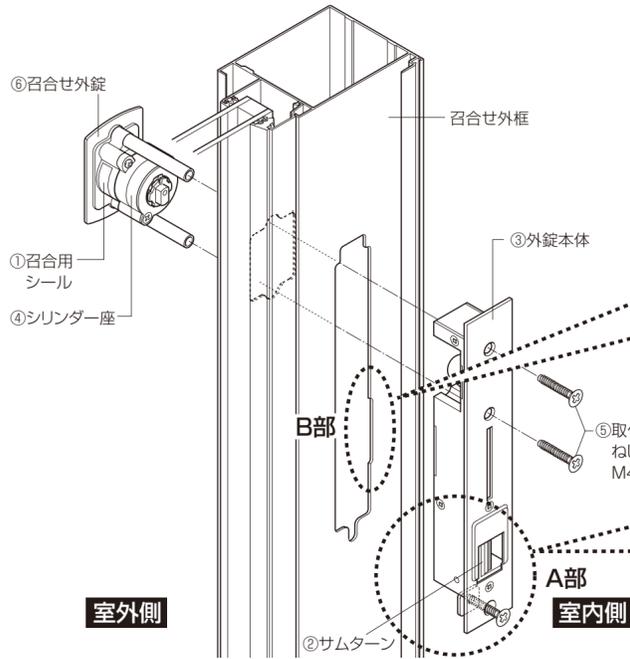


4 召合せ外錠の取付け

※必ず障子のストッパーを取付ける前に錠を取付けてください。
障子のやり越しができなくなります。
※召合せ外錠は、戸先外錠とは異なります。召合せ用シールを確認してください。

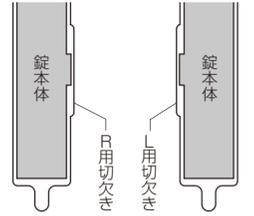


※戸先外錠にはシリンダー付きとシリンダーなしがありますが、外障子・内障子どちらの縦框にも取付け可能です。
※本錠は、安全装置付きのため、障子が閉まった状態でないと②サムターンの「開」「閉」操作はできません。
●外障子の召合せ部に③外錠本体を組み込み、ねじで固定します。
④シリンダー座を⑤取付けねじ(M4×20)2本で固定します。
※部のねじは両側とも、ねじ頭に色がついています。



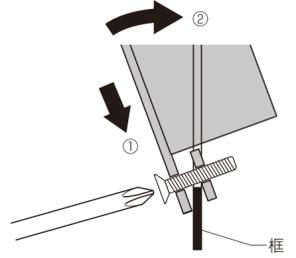
■B部詳細

4枚建の外錠本体には勝手(R/L)があります。障子にはR用、L用の切欠きがあります。切欠きにあった錠本体を取付けてください。(2枚建の場合はR用です。)



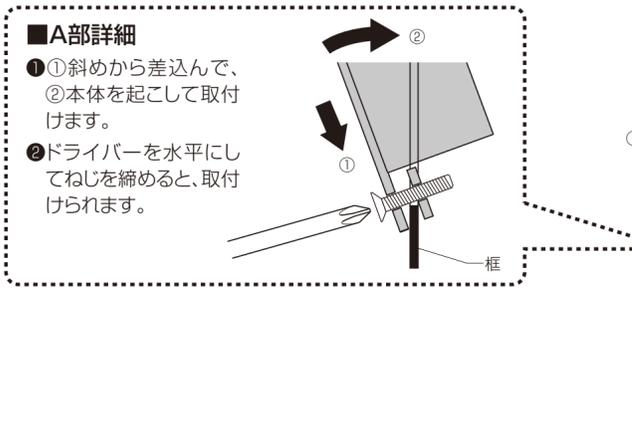
■A部詳細

①斜めから差込んで、②本体をを起こして取付けます。
②ドライバーを水平にしてねじを締めると、取付けられます。



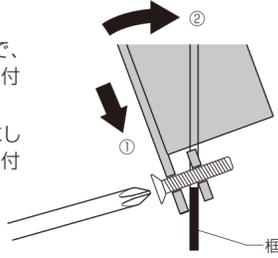
5 召合せ内錠の取付け

※必ず障子のストッパーを取付ける前に錠を取付けてください。
障子のやり越しができなくなります。
●内障子の召合せ部に①内錠本体を組み込み、ねじで固定します。
②サムターンを上げて内錠本体の角穴(A)に入るように差込み、③取付けねじ(M4×20)2本で固定します。



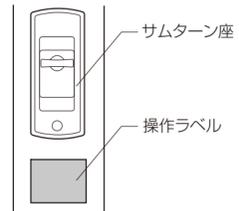
■A部詳細

①斜めから差込んで、②本体をを起こして取付けます。
②ドライバーを水平にしてねじを締めると、取付けられます。



■セキュリティサムターンの場合

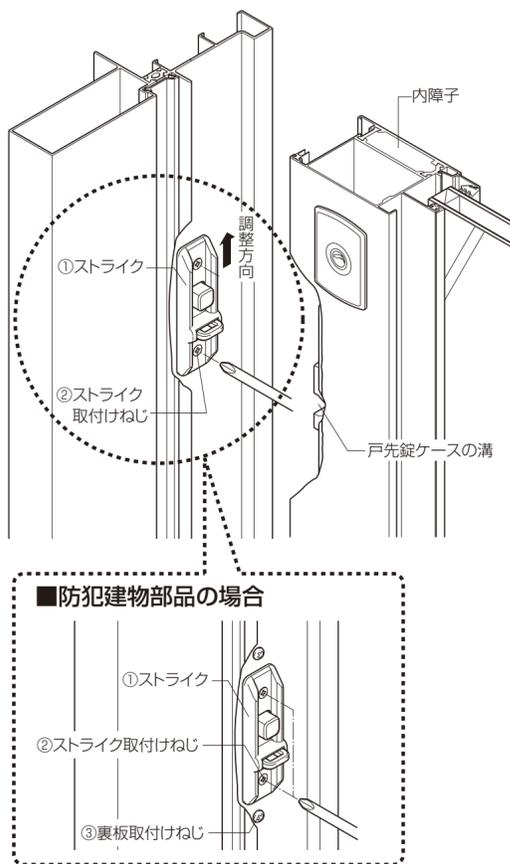
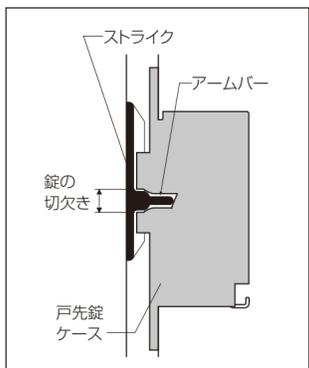
●取付け後、サムターンツマミを「カチッ」と音がするまで、上げてください。錠本体に連結されます。
●同梱の操作ラベルをサムターン座の下に張ってください。



■ストライクの調整方法

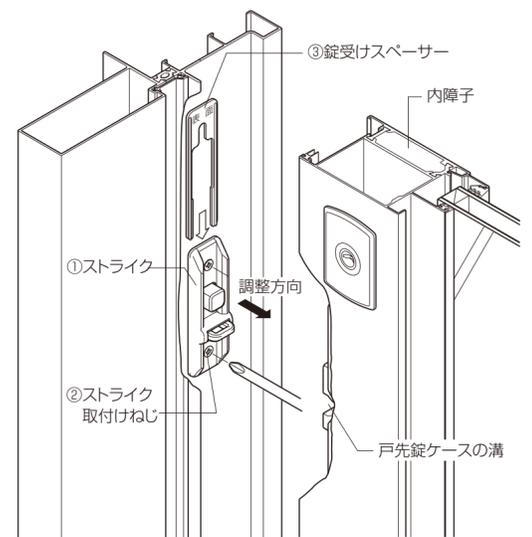
1 上方向の調整

●戸先錠がかりにくい場合や、ラッチがかりにくい場合は、②ストライク取付けねじを上下2ヶ所ともゆるめ(防犯建物部品の場合は、③裏板取付けねじ2ヶ所もゆるめ)、①ストライクを上へ調整してください。
調整幅：上方向5mm
●調整後、すべてのねじを元通りに締めてください。
※障子を少し開けた状態で、アームバーが錠の切欠きの中心にくるように調整してください。



2 出方向の調整

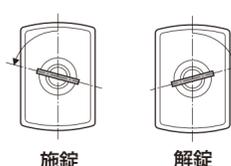
●上方向の調整をしても、錠がかりにくい場合やラッチがかりにくい、又はラッチ解除がかた場合は、②ストライク取付けねじを上下2ヶ所ともゆるめ、③錠受けスペーサー(枠に同梱)の裏表を確認して枠と①ストライクの間に差込んでください。
調整量：1枚で約1.5mm(4枚同梱)
※錠受けスペーサーはあらかじめ1枚セットされています。障子のガタが大きい場合は取り除いてください。
※ストライクの寸法はできるだけ小さくしてください。出しすぎると気密材が当たらなくなり、気密性能が劣化したり、召合せ錠がかりなくなったりすることがあります。



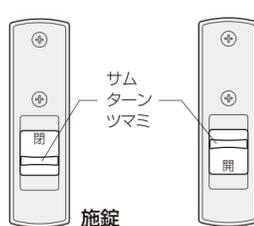
■施錠操作方法

※本錠は、安全装置付きのため、障子を閉めないでサムターンの「開」「閉」操作はできません。
※本錠の召合せ錠は、調整不要の機構を採用しており、施錠後に障子を開ける操作をした場合、サムターンツマミでの解錠操作が固くなる場合があります。その場合は、一度障子を閉め方向に動かすと操作が軽くなります。

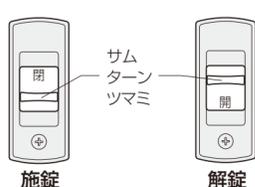
戸先錠・召合せ錠 室外 (キー操作)



戸先錠 室内 (サムターンツマミ操作)

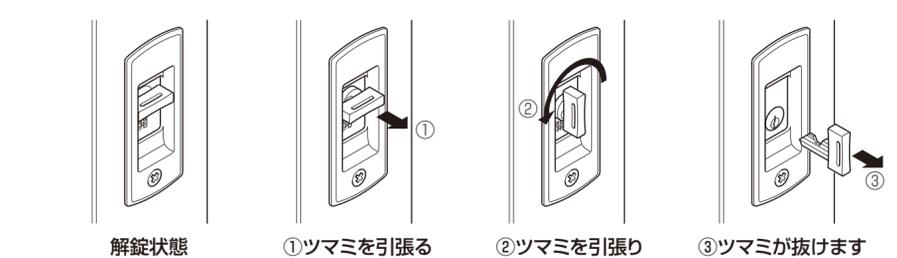


召合せ錠 室内 (サムターンツマミ操作)



■セキュリティサムターンの取り外し方法(セキュリティサムターンの場合)

①ツマミを外す場合は①ツマミを引っ張りながら②左にまわすと③ツマミが抜けます。
④ツマミが抜けた後、セキュリティサムターンのシリンダーは一番下まで下がった状態になります。
②ツマミを取付ける場合は、ツマミを差込み、右にまわしてゆっくり上げます。



※施錠状態からの取外しも同様です。